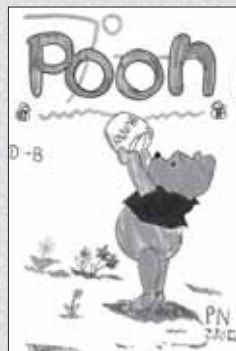


イラストコーナー

イラストは
たてに描いてね



PN. こぶたさん



PN. 百蘭さん



増永もえのさん

このコーナーでは、みなさんからの便りをお待ちしています。
どんなことでもかまいません。どしどしお送りください。広報クイズの答えもお忘れなく。

《あて先》〒861-3296 御船町役場「おたより」係 ※住所を書かなくても届きます。

《Eメールアドレス》 kanri@town.mifune.lg.jp

※匿名希望の場合は、氏名の横にその旨を明記してください。ペンネームでもかまいません。

▼小学4年ころの写真(前列左5番目)。木造の校舎や梧桐を背景に、担任の先生方と、クラスの子ら児童19人で記念に収めた写真です



まちへのラブレター

みなさんからの便りをご紹介します。

ま まだまだ寒い日が続きますが、休日の我が家の定番メニューは『鍋』料理。中身はというと主人が我が子のように育てた、野菜たっぷりで肉少なめの『あっさり鍋』です。味付けもうす味にし、野菜の甘みを味わえるおすすすめ鍋です。子どもも普段よりたくさん野菜を食べるようになりました。

(陣・Nさん)

ほんとに寒い日が続いていますね。Nさんのおうちではお父さんが育てた野菜を入れての『鍋料理』いいですね。体もボカボカ温まって、野菜もいっぱい食べれて一石二鳥。また子ども達が食べる様子を見ているのも幸せですね。『鍋』で寒い冬を乗り切りましょう。

(広報担当)

大 正15年6月17日生まれの寅年です。何より本を読むのが好きです。人生まだまだいろいろあるさ(嶋津アヤさんの歌)

(陣・Yさん)

今 回初めてクイズに応募します。今年は寅年ですが、わが家の娘も寅年で12歳です。

(滝尾・Sさん)

今月は寅年生まれの皆さんからたくさんのかぎが届きました。12年に1度しかやってこない干支です。一日一日を大切に過ごせたらいいですね。皆さんにとって、この一年が素晴らしい年でありますことを祈ります。

(広報担当)



先生の青春昔話

町内に勤務する先生に、子どものころの思い出を話してもらうコーナーです。

感謝深まる時代の記憶



高木保育園 住永 和代 保育士
(御船町木倉出身・60歳)

木倉に生まれ、木倉で育ち、60歳を迎えた現在も木倉に住んでいる私。もちろん、木倉小学校の卒業生です。

小学校といっても、今は見ることも出来ない、木の香漂う木造の校舎です。当時の思い出を振り返る時、校庭の東側に庭園が残っています。これは開校当時に、地域の方や子どもたちが力を合わせて造られたもので、「蜚雪園」と名付けられました。校舎前には、「少年易老学難成 階前梧葉已秋声」の思いが込められた梧桐が植えられていました。

そのような温かい思いが詰まった学校で、優しいまなざしの先生方、上級生の皆さんと一緒に楽しい時間を過ごした小学生時代。勉強や運動が出来たこと、ほかのクラスとの競争を楽しみながら、教室や廊下、校庭、蜚雪園の掃除をしたことを懐かしく思い出す日々。節目の歳を迎えた今もなお、感謝の気持ちでいっぱい입니다。

文芸

短歌

かすみ目の若返りたり医の力残る命をゆだねて生きむ

北村やよい

山茶花の無垢の白きに並び咲く少しくすめる沈黙の赤

古閑喜美子

扇風機の片付かぬ間に炬燵出し綿入れさがし右往左往す

平野 文子

川底に紅葉ひとひら沈ませて映のせせらぎ透きて流るる

藤本 京子

「禰宜」と言う言葉の意味を八十歳の吾は電子辞書遂にひきたり

正宗タツ子

恥を捨て吾の一世の過ぎゆきをふり返りつつ自分史つづる

山本志満子

磯宿に迫る潮鳴りとどろきて濤は断崖這いのぼりおり

市川 結子

俳句

御船春菊句会 大坪路子選

心の灯今日も授かる初句会

守田 律子

人日や気さくな友と落合はん

赤星 和子

初孫の安産祈る初詣で

たさきゆみ

幼子に手加減されてかるた取り

黒田 順子

初雪に喜こぶ子等の声を聞き

渡辺 澄江

鳩時計はうほう鳴ける夜の雪

さとうともこ

老いて子に少し逆らひ去年今年

いつのひろ

肥後狂句

天狗会

つつましく 男泣かせた影もなし

大川 吾作

窓の外 宿題させんお友達

増永 笑和

上には上 世間の広さ知らされた

坂本 周礼

そらア無理 三食昼寝やせたいわ

坂田 とも

誇らしげ 又教養のひつとずる

平野 千鶴

負け惜しみ 美人でなくてよかつたぞ

吉田 楽園

誇らしげ 片手上げよる三輪車

鳥井 蘭

しぶとさが 人目も気にはならつさん

江藤 お竜

さすが田舎 縁家ばかりで悪態えん

河地 ゆき

怪しいもん 電話に出るとひつ切れる

作田 お光

一般投稿

怒る顔には皺が寄り 笑う顔には光沢が映える

内村 孝子

期待して 見た万羽鶴は カラス似

松山 和美

二人して孫の成長ににっこりと賀状を整理す明日への望み

倉本 幸治

はらはらと散りこぼれゆく山茶花に師走の雨の音もなく降る

古閑喜美子

きさきらぎに妻去り逝きて年の暮れ過ぎし病いの想い出募る

田中 外至

昨日まで幼子と思ひし孫娘今日は二十歳の前撮りをする

田村 智子

霜の朝いつものコース、ウォーキング友の土産のマフラー揺れる

渡辺イチ子